Letter of the M.Y. elementary school

ひ び き　南山田小学校だより

～ ともだちいっぱい　かがやく子 ～

学校通信　NO.327
令和５年度１０月号
令和５年９月２９日

見える姿と見えない姿

校長　鈴木　智彦

「はい。お待たせしました。
　焼きそばです。ありがとうございました」
「(フランクフルトに）ケチャップはおかけしますか？」
「また買いに来てくださいね」

屋台みーなちゃん

　コロナ禍で中止していた**南山田っ子懇話会**を４年ぶりに再開しました。
　上記の会話は懇話会委員の方から教えていただいた、本校児童の「ビュープラ祭り」での様子です。

　９月１０日（日）に「ビュープラ祭り」が行われました。そこでは、ビュープラに住んでいる子どもたちの有志が司会をしたり、焼きそばやフランクフルト等の販売をしたりしていました。すると、参加されていた方から本部役員の方に質問があったそうです。「この子たちはどこの学校の子ですか？」と。屋台の店員さんになって頑張っている子どもたちの姿と丁寧な言葉遣いにびっくりして、思わず聞いてしまったそうです。
　他の委員の方からも「マンションですれ違ったときに挨拶をしてくれる」や「子どもたちの姿から元気をもらっている」というお話をいただきました。改めて、子どもたちは地域で育ち、地域の方々に見守られているのだと感じました。

　各階を回り、懇話会委員の皆様に子どもたちの様子を見ていただいてから懇談の時間をもちました。するとキッズの方が「キッズで見せる姿と教室の姿は違うんですね。きっと家庭とも違うんでしょう」とおっしゃっていました。

　久しぶりの懇話会でしたが、私たちが知らない子どものエピソードや、違う立場からみた子どもたちの姿を教えていただきました。私たちは、自分の捉えや価値観で物事を判断しがちです。しかし、こうして他の視点からのお話を伺うことで、自分の捉えを問い返すことができます。私たちには見せない姿も子どもの姿として受け入れ、様々な場面で見せる子どもの姿、そのそれぞれを大事にしながら、みんなで子どもにかかわっていきたいと思います。